

## 2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330241041	ICT実践演習 ICT practical exercises	山坂菜々			2	必修	4前期

## 科目の概要

学校は、授業等でタブレットPCをはじめとする情報端末・デジタル機器を活用している。また令和2年度から実施されている小学校学習指導要領では、プログラミング教育が必修となっている。  
本授業では、シラバス記入要領のD.P.②で示されている学校での課題に対する理解を深め、教育の情報化について専門的な知識と技能ならびに思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を身につけた教員の育成をめざす。そのため、教育に用いられる情報端末・デジタル機器について、思考を深め個に応じた学習を進めるためのツールとしての活用を学ぶ。これらを基に教材研究ならびに授業設計と、その仕上げとしての模擬授業を通して、情報端末・デジタル機器の効果的な活用ができることをめざす。

学修内容	到達目標
① ICTの特徴と操作を学び、授業での活用を学ぶ。 ② ICTの特徴を生かした指導案を作成する。 ③ 情報活用能力の育成の具体を学ぶ。 ④ 小学校におけるプログラミング教育の必要性とその内容を学ぶ。 ⑤ 校務の情報化を推進するための具体を学ぶ。 ⑥ 教師に求められるICT活用指導力の向上をめざす。	① ICTの特徴と操作を知り、実際の授業で活用することができる。 ② 作成した指導案を基に、模擬授業を行い、実際の授業への応用を考えることができる。 ③ 情報活用能力を、児童に適切に指導できる。 ④ 小学校におけるプログラミング教育の背景や習得が期待されている能力を具体的に述べるができる。 ⑤ 校務の情報化を推進するために具体的な内容を挙げるができる。 ⑥ 教師に求められているICT活用指導力の向上をめざす態度を示す。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	ICTの活用に関心を持ち、教育に積極的に生かそうとする。
	働きかけ力	情報活用能力の育成の具体を知り、児童に適切に指導できる。
	実行力	授業における教材研究を通して、適切な場面でICTを活用することができる。
考え抜く力	課題発見力	子どもの実態把握等とおして、どのようにICTを活用することが効果的であるかに気づくことができる。
	計画力	ICTを活用するために、適切に機器を準備したり管理したりしながら、授業等に向かうことができる。
	創造力	ICTの活用をおして、従来のメディアでは難しかった指導方法等を考えることができる。
チームで働く力	発信力	ICTの効果的な活用について、他の学生等との意見交換等を通して、創造的に構築し、実際の指導に活用することができる。
	傾聴力	ICTの効果的な活用について、他の学生や教員等、またネット等の意見等を参考にして、クリティカルに判断することができる。
	柔軟性	ICTの効果的な活用について、実際のデータや事例を通して、自らの考えに固執することなく、取捨選択することができる。
	状況把握力	ICTの効果的な活用について、個々の学習者の実態に応じて、適切な指導を選択することができる。
	規律性	予習・復習を継続的に実施し、課題等の提出期限や、他のルールを遵守することができる。
ストレスコントロール力	ICTの効果的な活用について、グループ学習等を通して、過度なハレーションやマウント等に陥ることなく、適切なコミュニケーションをとることができる。	

## テキスト及び参考文献

参考文献：文部科学省、教育の情報化に関する手引―追補版―、2020  
 参考文献：文部科学省、小学校プログラミング教育の手引（第三版）、2020  
 参考文献：梅田恭子、齋藤ひとみ監修、ICT活用指導力アップ！教育の情報化 教員になるための情報教育入門、実教出版、2019

## 他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：本授業は、学部共通科目「情報リテラシーⅠ、Ⅱ」を基礎とし、「教職入門」や「教育課程論」など教育の基礎的理解に関する科目で修得した知識を基盤に、教育現場での具体的・効果的な活用法を学習していく。そして4年後期での「幼小連携」へと繋がっていく。  
 資格との関連：小学校教諭

学修上の助言	受講生とのルール
授業はICT機器の操作法を覚えるだけでなく、授業を中心にしながら、学校や園で活用できることを目的としている。また小学校では、学習段階で思考を深めるツールとして活用することを目指している。	ICT機器を有効に活用した授業づくりが中心になることを意識し、積極的・探求的な受講態度であること。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント					
学修成果	学期末試験	0	①	⑥					
			②						
			③						
			④						
			⑤						
	平常評価	小テスト	0	①		⑥			
				②					
				③					
				④					
				⑤					
		レポート	60	①		✓	⑥	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTの活用について、情報端末やデジタル機器の活用の意義を記述する。</li> <li>情報端末やデジタル機器の活用が、学校園の教育活動や授業において、どのような発展や効果が得られるのかを記述する。</li> <li>予習課題と復習課題の提出状況と内容で評価する（課題は、Google Classroomで提出する）。</li> </ul>
				②		✓			
				③		✓			
				④		✓			
				⑤		✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓	⑥	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校園におけるICT活用のための教材研究ならびに教材開発を行う。</li> <li>学校園におけるICT活用した具体的な指導案を作成する。</li> <li>ICTを活用した模擬授業を行う。</li> <li>上記教材や指導案、模擬授業について、他者のものを適切に評価する。</li> </ul>			
		②	✓						
		③	✓						
		④	✓						
		⑤	✓						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>（主体性）学校園におけるICTの活用に積極的な関心を持ち、学校園等での教育に生かそうとする。</li> <li>（実行力）自ら進んでICTを活用した教材等の開発を行い、実際に授業等で指導しようとする。</li> <li>（課題発見力）現在の授業においてICTを活用することによって、より発展させることが可能な場面を発見することができる。</li> <li>（創造力）情報端末やデジタル機器の必要な場面を発見した後、従来の方法に囚われない有効な活用方法を考えることができる。</li> <li>（発信力）ICTの活用の特徴を理解し、実際の指導に活用することができる。</li> <li>（傾聴力）ICTの活用について、さまざまな他者からの意見を聴き取ることができる。</li> <li>（規律性）予習・復習を継続に実施し、課題の提出期限やルールを遵守することができる。</li> </ul>		
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
			⑤	✓					
総合評価割合		100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>① 情報活用能力を理解し、ICT活用指導力および校務の情報化を有効に活用する方法を述べることができる。</p> <p>② 学習指導要領に示された授業のあり方を理解し、ICTの特徴を生かした模擬授業を行うことができる。</p> <p>③ 情報端末やデジタル機器を、学校や園での教育活動や授業等で有効に活用するために、適切に操作ならびに管理することができる。</p> <p>上記に加え、②では子どもの個々のに応じた適切な指導を選択できている場合、③では従前の指導を発展させたものである場合、S（秀）と評価する。</p> <p>上記に加え、②では子どもの個々のに応じた適切な指導を選択できている場合、③では従前の指導を発展させたものである場合、S（秀）と評価する。</p>	<p>① 情報活用能力を理解し、ICT活用指導力および校務の情報化を活用する方法を述べることができる。</p> <p>② 学習指導要領趣旨に示された授業のあり方および、ICTの特徴を理解している。</p> <p>③ 情報端末やデジタル機器の操作ならびに管理ができる。</p> <p>上記の内容まで到達していない、または提出遅れはC（可）とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	○オリエンテーション ○学校園における情報端末・デジタル機器の種類や概要を知る	1. 講義：学校園における情報端末・デジタル機器 2. グループワーク：学校園における情報端末・デジタル機器の種類や概要を、インターネットや学内の探索等を通してまとめる(Google Classroom) 3. 復習	・学校におけるさまざまな情報端末・デジタル機器を挙げることができる	(予習) 学校園における情報端末・デジタル機器を調べる  (復習) 学校園における情報端末・デジタル機器の種類や概要をまとめる	180	主体性 課題発見力 傾聴力
2	○自らのICT活用指導力の現状を知る ○校務の情報化について、実習によって体験する	1. 復習と予習の確認 2. 演習：ICT活用指導力チェックリストによって、自らのICT活用指導力の現状を知る 3. 講義：校務の情報化の概要 4. 演習：アンケート処理等を行うフォーム等の作成を通して、校務の情報化について体験する(Google Classroom) 5. 復習	・ICT活用指導力を説明することができる ・校務の情報化の概要、すなわち目的や必要性等について、簡単に述べることができる	(予習) ICT活用指導力チェックリストを読む。校務の情報化について調べる  (復習) 校務の情報化が可能な他の事例について調べる	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性
3	○情報モラルの概要を知る ○情報モラルの実践に向けて準備する	1. 復習と予習の確認 2. 講義：情報モラルの概要 3. グループワーク：情報モラルの実践に向けて、それぞれニュースを調べ、プレゼンテーションソフト等を用いてまとめる(Google Classroom) 4. 復習	・情報モラルの概要を述べるができる ・情報モラルの実践に向けて、まとめを作成できる	(予習) 文科省「情報モラル学習サイト」を見る ニュース人狼とは？ <a href="https://youtu.be/hSOF6EfZu7w">https://youtu.be/hSOF6EfZu7w</a>  (復習) 情報モラルの実践に向けたまとめを作成する	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	○情報モラルを実践を通して理解する ○実践をまとめることによって、他の教材への応用等の可能性を検討する	1. 復習と予習の確認 2. グループによるワークショップ：ニュースについて発表するとともに、その真偽について検討する 3. まとめ：ワークショップのまとめを作成し提出する(Google Classroom) 4. グループ討論 5. 発表 6. 復習	・情報モラルの実践を行う ・実践についてまとめを作成する	(予習) 情報モラルの実践に向けたまとめを作成する  (復習) 実践のまとめを振り返り、応用等の可能性を具体的に検討する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
5	○ICTを活用した教材を検討する ○情報端末やデジタル機器について理解する	1. 復習と予習の確認 2. 講義：ICTを活用した授業等の具体例 3. 演習：情報端末やデジタル機器について、実際に触れて理解を深める 4. グループワーク：情報機器やデジタル端末について、グループで理解を共有する 5. まとめ：情報端末やデジタル機器の特徴等をまとめる(Google Classroom) 6. 復習	・情報端末やデジタル機器の特徴等をまとめることができる	(予習) 身の回りの情報端末やデジタル機器を調べる  (復習) 情報端末やデジタル機器が、授業等で活用されている場面を調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
6	○産学官連携から考える地域再生 ○“学”によるワークショップの企画と提案	1. 復習と予習の確認 2. 講義：地域との連帯の具体例 3. ワークショップ：VTuber体験 4. まとめ：産学官連携から考える地域再生(Google Classroom) 5. 復習	・産学官連携についての意見を述べるができる ・地域連帯への企画やアイデアを出すことができる	(予習) 地域との連帯の具体例について調べる  (復習) 地域と連帯した授業について調べる	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
7	○生成型AIの新しい動向を実践を通して理解する ○実践をまとめることによって、他の教材への応用等の可能性を検討する	1. 復習と予習の確認 2. 講義：生成型AIのイラストについて 3. グループによるワークショップ：chatGPTを使い、プロンプトを生成し、AIイラストを生成する 4. まとめ：ワークショップのまとめを作成し提出する(Google Classroom) 5. 発表 6. 復習	・ChatGPTを用いて、プロンプトを作成することによって、ICTの新しい動向等を理解できる ・AIで生成した絵の特徴等を知る	(予習) ChatGPTを用いて文章を作成する  (復習) 様々なAIを用いて、授業への応用を考える	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
8	○プログラミングの基本的な考え方 ○小学校プログラミングに対する理解 ○小学校プログラミングの授業の体験	1. 復習と予習の確認 2. 講義：プログラミングの基本的な考え方 3. 講義：小学校プログラミングについて 4. 演習：小学校プログラミングの授業の体験 5. まとめ：小学校プログラミングについて(Google Classroom) 6. 復習	・基本的なプログラミングを行うことができる ・小学校プログラミングについて説明できる	(予習) プログラミングについて調べる  (復習) 小学校プログラミングを用いた授業の充実について調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	○ICT機器や学習指導要領、デジタル教科書等を参照しながら、教材を作成する ○指導案や授業について、基本的なことを振り返る	1. 復習と予習の確認 2. 演習：ICTを活用した教材を作成する 3. グループワーク：作成した教材の検討と相互評価を行う (GoogleClassroom) 4. 復習	・学習指導要領やデジタル教科書等を読む ・ICTを活用した教材が作成できる	(予習) ICTを活用した教材の事例を調べる  (復習) ICTを活用した教材を振り返り、教材を作成する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
10	○ICTを活用した教材を用いて、模擬授業の計画を立てる ○ICTを活用した模擬授業について、相互評価を行う	1. 復習と予習の確認 2. 講義：授業の計画について 3. 演習：ICTを活用した教材を用いて、模擬授業の計画を立てる 4. グループワーク：ICTを活用した模擬授業について、相互評価を行う (GoogleClassroom) 5. 復習	・ICTを活用した教材を用いた模擬授業の計画が作成できる	(予習) ICTを活用した授業の事例を調べる  (復習) ICTを活用した模擬授業について、予行する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	○ICTを活用した教材と授業計画を用いて、模擬授業を行う ○ICTを活用した模擬授業について、相互評価を行う”	1. 復習と予習の確認 2. グループワーク：ICTを活用したより良い模擬授業を行う、模擬授業を相互評価を行う 3. 復習	・ICTを活用したより良い模擬授業を行う、また模擬授業を相互評価を行う	(予習) 模擬授業を通して、自分や他者に対してもICTを活用したより良い授業を追求していく姿勢をもつ (復習) ICTを活用した模擬授業をより良いものに改善する、他者の評価を見て課題を明らかにする	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	○ICTを活用した教材と授業計画を用いて、模擬授業を行う ○ICTを活用した模擬授業について、相互評価を行う”	1. 復習と予習の確認 2. グループワーク：ICTを活用したより良い模擬授業を行う、模擬授業を相互評価を行う 3. 復習 4. グループワーク：ICTを活用した模擬授業について、相互評価を行う (GoogleClassroom) 5. 発表 6. 復習	・ICTを活用したより良い模擬授業を行う、また模擬授業を相互評価を行う	(予習) 模擬授業を通して、自分や他者に対してもICTを活用したより良い授業を追求していく姿勢をもつ (復習) ICTを活用した模擬授業をより良いものに改善する、他者の評価を見て課題を明らかにする	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	○ICTを活用した教材と授業計画を用いて、模擬授業を行う ○ICTを活用した模擬授業について、相互評価を行う	1. 復習と予習の確認 2. グループワーク：ICTを活用したより良い模擬授業を行う、模擬授業を相互評価を行う 3. 復習	・ICTを活用したより良い模擬授業を行う、また模擬授業を相互評価を行う	(予習) 模擬授業を通して、自分や他者に対してもICTを活用したより良い授業を追求していく姿勢をもつ (復習) ICTを活用した模擬授業をより良いものに改善する、他者の評価を見て課題を明らかにする	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	○ICTを活用した教材と授業計画を用いて、模擬授業を行う ○ICTを活用した模擬授業について、相互評価を行う	1. 復習と予習の確認 2. グループワーク：ICTを活用したより良い模擬授業を行う、模擬授業を相互評価を行う 3. 復習	・ICTを活用したより良い模擬授業を行う、また模擬授業を相互評価を行う	(予習) 模擬授業を通して、自分や他者に対してもICTを活用したより良い授業を追求していく姿勢をもつ (復習) ICTを活用した模擬授業をより良いものに改善する、他者の評価を見て課題を明らかにする	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	○オンデマンド ○本授業のまとめ ○YouTubeでの限定配信	1. 本授業の復習 2. フィードバック 3. 最終課題について 4. まとめ 5. 復習	・授業全体を振り返る ・本授業を通して学んだことを活かし、将来どのようにしてICTを活用していくべきかを述べるができる	(予習) 本授業を振り返る  (復習) 本授業を通して、ICTを活用したより良い授業を追求していく姿勢をもつ	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力